

地球環境学堂 人間環境設計論分野

地域の文化や風土から持続的人間環境のあり方を学び、
地球環境に存する社会的課題を地域から考える。

研究対象：あらゆるスケールの人間環境

「ひと・暮らし・すまい・ちいき」という人間環境
に関わるあらゆるスケールを研究対象とする。

研究アプローチ：研究から実践へ

主にフィールドワークで得られる知見に基づき、解決への
「しくみづくり」をおこない実践的な社会適用を試みる。

■地域文化・風土に根ざす安全な人間環境設計

1. 地域参加型プラットフォームによる都市災害レジリエンス向上プロジェクト（カトマンズ、ヤンゴン）
2. 災害復興住宅における住宅安全性及びリスク認知の経年変化調査（インドネシア）
3. サイクロン災害における伝統建築・現代住宅の瀬能評価調査（フィジー）
4. 伝統技術を応用した耐災害住宅の開発と実践（バヌアツ）



カトマンズ・カリビヤナク地震被害住宅のフィールド調査

■地域の文化・風土に根ざす快適な人間環境設計

1. 地域に根ざす建築の再生：アジア木造建築文化の発展的継承・風土建築の再建プロジェクト（ベトナム、フィジー）
2. 地域に根ざす建築の創生：地域資源を活用した新たな環境建築の開発と実践（たねや農藝、バンブーグリーンハウスプロジェクト）
3. 茅葺き民家の活用と地域振興（福井県おおい町）
4. 地域集落の民泊事業推進調査（和歌山県白浜町、対馬市）



フィジー・ビチレブ島伝統住宅ブレ

ベトナム・少数民族カトゥウ族の伝統的集会施設

■研究室所属学生の構成（2017年度前期予定，全19名）

博士課程（地球環境学舎）	5人（マレーシア，インド2人，トルコ，日本）
修士課程（地球環境学舎）	4人（ミャンマー，ブラジル，日本2人）
修士課程（建築学専攻）	5人（日本5人）
学士課程（建築学科）	3人（日本3人）
研究生（地球環境学舎）	2人（フィジー，台湾）

■研究室所属学生の専門分野

建築設計学，環境デザイン学，社会学，開発学，防災学など

■これまでの主なインターン研修先

大学：バンドン工科大学，四川大学(中国)，ブラック大学(バングラデシュ)，フエ大学(ベトナム)，適正技術開発センター(フィジー)，南太平洋大学(フィジー)

NGO：アプカス(スリランカ)，NSET(ネパール)，CODI(タイ)，SEEDS Asia(ミャンマー)，Habitat for Humanity(東京)

NPO：MIT(対馬市)，美山里山舎(南丹市)

企業：松井建設(滋賀県)，桃李舎構造設計事務所(大阪市)，

行政：対馬市，紀伊田辺市，西条市